

2013年度防災教育チャレンジプラン(入門枠実践団体) 最終報告書



記 入 日 2012年12月2日

実践団体名	兵庫県立神戸聴覚特別支援学校		
連絡先	教頭 田中房雄 (電話 078-709-9301)		
プランタイトル	聴覚障害のある児童生徒の防災を考える		
	番号※	詳細	
1 プラン対象者	1,2,3,4,5,6,8,9,10,13	本校各学部の児童生徒、職員、地域住民、ボランティア団体ほか	
2 対象災害種別	1, 2	地震発生とそれに伴う津波の発生に備えて	
3 プランの目的	1,6,8,	①防災について地域と連携することの重要性を学ぶ。 ③地域・関係諸団体を巻き込んだ活動を進める	
4 協力・連携先	1,2,3,7,	神戸学院大学、垂水手話サークル、関西学生手話サークルほか	
5 プログラムの種類	2	NHK「みんなの手話」の講師で、大震災のドキュメンタリーを撮影された早瀬憲太郎氏をお招きしての講演会を開催。	
参考先 進事例	活動年度	2008 年	団体名 高知県立高知東高等学校
	参考内容	防災文化を地域や他の学校に広げていくことを目的としている点などが参考になった。	

※ 赤枠は別紙「記入上の留意点」の各項目から選択し、記入してください。

地域特性に応じた アレンジ・工夫点	本校は臨海部に属しており、地震津波対策は不可欠である。そのため、防災避難訓練とともに、講演会などを実施して地域との連携を強化し、学校内だけにとどまらない実践的な防災教育の推進を図った。
実施スケジュール 内容・成果※	4月；防災プロジェクトチームの編成(役割分担、目標などの決定) 5～9月；防災教育計画の立案(8月に講演会の内容などを変更) 11月；各学年、及び職員で事前に早瀬氏の映像作品『生命のことづけ』を予め鑑賞し、東日本大震災で障害者が置かれた現状を学ぶ。 12月2日(月) 神戸聴覚防災教育講演会として講演会を開催 (当日)10:00～ 早瀬氏来校 保育・幼稚部の生徒と交流会 13:00～ 小学部との交流会、防災に関する手話ゲームの実施 14:00～ 中学・高等部への講演会、中高生への提言など 15:30～ 保護者・地域住民などを対象とした講演会実施 「早瀬憲太郎講演会 聴覚障害児・者を取り巻く災害 ～親・地域・学校として出来ること～」のタイトルで実施し、東日本大震災における障害者の現状と、それを今後の地域作りにどう役立てるかの講演を行う。
全体の反省・感想・課題	早瀬氏はNHKの「みんなの手話」のMCで、本校生にとってはあこがれの存在であり、子どもたちは感激し、食い入るように早瀬氏の話に聞き入っていた。同時に早瀬氏が監督・脚本を務められた作品を予め見て、防災について子どもたちの見識が高まったことが実感できた。
今後の継続予定	次年度もこうした講演会・ワークショップを通して、生徒の防災意識を向上させるとともに、地域を巻き込んだ防災訓練を実施するなどして本校がすすめる「いのちの教育」の中核として防災教育の充実に努めていきたい。



※ 写真の添付など、枠内に収まらないときは裏面自由記述欄を使用してください。

自由記述欄 (必要に応じ、具体的な活動記録を自由様式で補足添付することが可能です。頁数自由)

NHK教育テレビ「みんなの手話」の講師でもお馴染みの

早瀬 憲太郎先生が、神戸聴覚特別支援学校に来校！！

12月2日(月)に防災教育をテーマに、早瀬憲太郎先生が講師として当校にお越し下さいました。「ぜひ神戸の子どもたちに会いたい」と遠路はるばるお忙しい合間をぬって当校に来校して下さい、生徒との交流・講演会、さらに保護者・職員・地域住民などを対象とした講演会が開催されました。児童生徒との交流・講演会は盛況のうちに終わり、講演会では『聴覚障害児・者を取り巻く災害 ～親・地域・学校として出来ること～』のタイトルで、東日本大震災における障害者の被災について、併せて今後の復興や防災、さらに地域社会づくりについてのさまざまな提言などを語られました。

【当日の時間帯】 (生徒向け交流会) 保育幼稚部(11:00~12:00)、小学部(13:00~13:45)

中学・高等部(13:55~14:45)

(保護者・一般対象講演会) 14:50~15:30 ドキュメンタリー映画「生命の

ことづけ」

15:30~16:50 講演会 (手話通訳あり)

☆今日はあこがれの早瀬先生が来校！子どもたちはとっても嬉しそうで、食い入るように早瀬先生のお話を聞いていました。早瀬先生から、防災を考えることは命を考えることであり、みんなが協力しあい、仲良くすることが第一歩だと聞き、うなずいていました。ありがとうございます。



早瀬 憲太郎 (はやせ けんたろう) 氏 ~略歴~

2013 年度防災教育チャレンジプラン(入門枠実践団体) 最終報告書



1973年奈良県生まれ。横浜で学習塾「早瀬道場」を経営。今年、デフリンピックに自転車競技で選手そして監督として出場。そのほか、東京都立大塚ろう学校早期教育相談指導員や、非営利団体スマイルフリースクール理事長を務める。全日本ろうあ連盟創立60周年記念映画「ゆずり葉」監督。また今年には、東日本大震災で被災した当事者のドキュメンタリー映画「生命のことづけ」が公開された。日本映画監督協会会員。妻はろう者として初めて薬剤師となった早瀬久美さん。

2013年度防災教育チャレンジプラン(入門枠実践団体) 最終報告書 記入上の留意点



最終報告書の作成にあたり、赤枠の項目について、以下を参照し該当番号を記入し、具体名称等を詳細欄に記入をお願いします。

「その他」を選択した場合は、詳細欄に具体的内容を記入してください。

1. プランの対象者について (複数選択可)

項目		項目		項目	
1	幼児・保育園児・幼稚園児	8	教職員・保育士等	15	高齢者
2	小学生(低学年)	9	保護者・PTA	16	海外
3	小学生(高学年)	10	地域住民	17	防災関係者
4	中学生	11	社会人・一般	18	全ての人々
5	高校生	12	女性	19	その他 ()
6	大学生	13	障がい者		
7	外国人留学生	14	養護学校児童生徒		

2. 対象災害種別について

項目		項目	
1	地震	5	不審者・犯罪被害
2	津波	6	火災
3	水害	7	災害全般
4	火山噴火	8	その他 ()

3. プランの目的について

項目		項目	
1	遊び・楽しみながらの防災	6	防災に関する知識を深める
2	防災に役立つ資料・材料づくり	7	技術を身につける
3	災害に強い地域をつくる	8	防災意識を高める
4	災害を想定した訓練	9	災害対応能力の育成
5	災害を疑似体験	10	その他 ()

4. 協力連携先

項目		項目	
1	学校・教育関係	6	企業・産業関連の組合等
2	同窓会組織	7	ボランティア団体・NPO 法人・NGO 等
3	保護者・PTAの組織	8	職業、職能団体
4	地域組織	9	学術組織、学会等
5	国・地方公共団体等	10	その他 ()

5. プログラムの種類について (複数選択可)

項目		項目		項目	
1	イベント・行事	7	学校内クラブ活動	13	体験学習
2	講習会・学習会・ワークショップ	8	その他学校内での時間	14	読書・絵本・読み聞かせ
3	講演会・シンポジウム	9	校外学習・移動教室	15	演劇
4	総合的な学習の時間	10	家庭学習	16	避難・防災訓練
5	教科学習	11	出前授業	17	その他 ()
6	学級活動	12	研究		